

Discourse Markers (指標語)

論理的帰結を引き出す

so	だから、そこで
therefore	それゆえに、だから
hence	それゆえに
consequently	従って
accordingly	従って
as a result	その結果として
thus	かくして
That is why ...	そういうわけで...

* so は等位接続詞。therefore から thus までは副詞(句)。That is why ... は前文とつながって、~, which is why のようになることもある。

仮定の上での結論

then	それなら、だとすると
if so	もしそうなら(そうだとしても)
otherwise	もしそうでなければ (= if not so)

* if so は「そうだとしても」の意味なら譲歩。then はこれ以外にかなり多くの意味を持つ。

逆接

but	しかし
Yet	しかしながら、それでも(文頭)
and yet	しかしながら、それでも
however	しかしながら
nevertheless	それにもかかわらず
nonetheless	それにもかかわらず
Still	やはり(文頭)
all the same	それでもやはり

*but は等位接続詞、それ以外は副詞

譲歩

Though ... , ~	...ではあるが、~
Even though ... , ~	...ではあるが、~
Even if ... , ~	たとえ...でも、~
While ... , ~	...だが、~
Whereas ... , ~	...だが、~
if not ~	~ではないにせよ(~でなければ)

*次の対照の while, whereas にも注意。

対照

on the other hand	他方で、その一方
... , while ~	...、その一方~
... , whereas ~	...、その一方~

*while, whereas は接続詞、on the other hand は副詞句なので、使い方は異なる。

譲歩しながら主張を強調する

It is true that ... , but ~	なるほど...だが、~
... may ... , but ~	...かもしれないが、~
... certainly ... , but ~	確かに...だが、~
... , to be sure, but ~	確かに...だが、~

... of course ... , but ~	もちろん...だが、~
... indeed ... , but ~	確かに...だが、~
... no doubt ... , but ~	確かに...だが、~
True, ... , but ~	確かに...だが、~

*これらは基本的に同じ働きなので、日本語訳の違いにこだわらなくてよい。but の代わりに、前半を though で表現したり、後半を however にすることもある。

列挙する

firstly, .. secondly, .. , finally, ...	第一に...、第二に...、最後に...
first of all	まず第一に
to begin with	まず第一に
to start with	まず第一に
for one thing, ... for another thing, ...	一つには...、またもう一つには...

*「まず第一に」と似たものに in the first place があるが、これは「そもそも」のような意味で使われる。

変化の予告

at first	はじめは
----------	------

*この後に、then「次に」、later「後に」、eventually「結局」、at last「ついに、結局」などと呼応して、「始めは~であったのだが、...」という変化を予告するはたらきをする。

論点の追加

moreover	その上、さらに
furthermore	その上、さらに
what is more	その上、さらに
besides	その上、さらに
in addition	その上、さらに
similarly	同様に(して)

*moreover などは新たな論点を追加する場合に用いるので、「第2に」に近いことが多い。

例を挙げる

for instance	例えば
for example	例えば
thus	例えば
... , say, ~	...、例えば、~
such asのような
including ~	~を含めて
in particular	特に

列挙において「以下省略」

... and so on	...等々
... and so forth	...等々
... and the like	...等々
... and things	...等々(口語)
... or whatever	...やその他何でも

除外

apart from ~	~は別にして
aside from ~	~は別にして

except(ing) ~ ~を除いて
but ~ ~を除いて
with the exception of ~ ~を除いて
save ~ ~を除いて

一般論を導入する

on the whole 概して
in general 一般に
as a rule 概して
in most cases 多くの場合
broadly(roughly) speaking 大まかにいえば
to some extent(degree) ある程度までは
mostly たいていは、主として
largely 主として

言い換え

that is (to say) つまり、すなわち
namely つまり
in other words 言い換えると
* コロン(:)はこの働きをすることが多い。that is to say は前文とつながって、..., which is to say のようになることもある。

直前の論旨の破棄・限定

at any rate ともかく
anyway いずれにせよ、とにかく
anyhow いずれにせよ、とにかく
after all 結局

話題の転換・話題の追加

by the way ところで
incidentally ところで、ついでながら
for that matter, (その件に関して)ついでにいうと
talking of(about) ~ ~といえば
speaking of ~ ~といえば

比喩・決まり文句の導入

so to speak いわば
as it were いわば
what is called ~ いわゆる~
what we(you, they) call ~ いわゆる~

*what is called ~ は「~と呼ばれているもの」が原義なので、what might be called ~ 「~とでも呼んでよさそうなもの」のような応用形になることもある。

現実による補強・現実との対比

in fact 実際は、つまり
as a matter of fact 実際は、じつは
actually 実際は
indeed (それどころか) 実際は
As it is, ... ところが実際は...

*As it is, ... は、それ以前に想像や仮定のことが書かれていて、「でも現実にはそうでない」と述べるときに使われる。

論点の絞込み

regarding ~ ~に関して
as regards ~ ~に関して
with(in) regard to ~ ~に関して
in relation to ~ ~に関して
in respect to ~ ~に関して
concerning ~ ~に関して
as to ~ ~に関して
with reference to ~ ~に関して

論点(主張)の限定

As for ~ ~に関する限り(文頭)
as far as S is concerned Sに関する限り

*「他の事(人)は知らないが~に関しては」という場合。